



①ノーマルリンクでは右方向にストロークすると、レバー比が急激に落ち込むが、イージーリンクではレバー比の変化が少なく、奥のストローク域でもリヤショックは初期と同じように動いてくれるのだ

■寺本自動車商会  
■大阪府大東市諸福8-4-22  
■072-875-8088  
■http://www.teramoto.biz

## TERAMOTO EZ-LINK SYSTEM

走りの幅をさらに広げる  
リンク交換という手法  
リヤショックは動きにくくなる傾向  
にある。イージーリンクはこの点に注目し、二人乗り設定のリンクプレートを一人乗り用に再設定。ストローケ量に対する荷重の変化を可能な限りフラットに設定しているため、ストロークが深くなつてもリヤショックがキッチリと仕事をしてくれる

TERAMOTOのスタッフで、寺本幸司氏とともに製品開発を担当した国際ライダーの大西博規氏は、イージーリンクの効果について次のように語っている。

「テストの際にスタンダードのリンクで走っていますが、とくにGSX-R1000の場合、ストロークすればするほどサスペンションが途中で動きにくくなり、リバウンドの印象も強いんです。ところがこのリンクに変更すると、リヤの接地感は格段にアップし、よりスマーズに走ることができるようになつたんです。そのためラインの自由度が増え、リヤのつっぱり感もなくなりました。立ち上がりでの安定感もかなり高まりましたね」

イージーリンクは現在GSX-R1000用(09)のみのラインナップとなっている。スーパースポーツのパーツということで、レースやスポーツ走行に特化したパーツと思ってしまうかもしれないが、高い速度域でサスペンションに高荷重が加わるサーキットよりも、むしろ低速

クで走っていますが、とくにGSX-R1000の場合、ストロークすればするほどサスペンションが途中で動きにくくなり、リバウンドの印象も強いんです。ところがこのリンクに変更すると、リヤの接地感は格段にアップし、よりスマーズに走ることができるようになつたんです。そのためラインの自由度が増え、リヤのつっぱり感もなくなりました。立ち上がりでの安定感もかなり高まりましたね」

「サーキットのような場所であれば、路面状態も良好でグリップも感じやすいんですが、スピードレンジが低くて路面状態も決して一定ではないストリートでは、どうしてもグリップを感じにくいです。イージーリンクは低い荷重でサスペンションが作動してくれるので、あらゆる路面状況でグリップを得やすいんです。現在はGSX-R1000用のみの発売となっていますが、今後はほかのスーパースポーツや250スポーツモデルを中心に、より幅広い車種に対応する製品を開発する予定です」



②ノーマルと比べると、その形状は大きく変化していることがわかる。ブロックアルマイトのブロックにはTERAMOTOとSサプライのロゴがあしらわれて、所有欲を満たしてくれる



③リンクロッドとショックボトムの距離など、各部の寸法を徹底的に突き詰めて理想のレバーレシオを導き出したという。なおノーマルマップラグは触媒部分とロッドが干渉するため使用することができない